

陸前高田市まちづくり総合計画 基本政策の指標に係る目標設定の考え方について(防災・交流等)

基本政策	指標名	現状値 (平成29年度)	目標値		目標設定の考え方
			5年後 (平成35年度)	10年後 (平成40年度)	
6 防災意識を高め、防災・減災体制を整える	防災意識の普及と防災・減災体制に満足している人の割合	68.6%	75.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	防災メール登録者数	2,000人	3,000人	5,000人	5年後には人口の15%、10年後には人口の25%を目指す
	自主防災組織率	66%	100%	100%	5年後(2023年度)に100%を目指す
	防災マイスター資格取得者数(延べ人数)	実績なし	200人	400人	年40人の取得者を目指し、10年後には今年度(予定)の10倍とする
	津波避難訓練参加者数	2,053人	3,000人	4,000人	平成29年度実績に対し、5年後には1.5倍、10年後には2倍とする
7 消防・救急体制の充実を図る	消防・救急体制に満足している人の割合	84.3%	87.0%	90.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で90%になることを目指す
	消防団員数	631人	631人	631人	現状維持を図る
	救急講習受講者数(延べ人数)	855人	855人	855人	現状維持を図る
	防火講習等受講者数(延べ人数)	2,984人	2,984人	2,984人	現状維持を図る
8 交通安全を推進する	交通安全の推進に満足している人の割合	48.8%	60.0%	70.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で70%になることを目指す
	交通事故発生件数(1月～12月)	434件	400件	350件	10年後には現状から約20%の減少を目指す
9 防犯体制の強化と安心なまちづくりを推進する	防犯体制の強化と安心なまちづくりの推進に満足している人の割合	57.0%	65.0%	70.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で70%になることを目指す
	刑法犯発生件数	37件	30件	25件	10年後には現状から約30%の減少を目指す
21 協働によるまちづくりを推進する	協働によるまちづくりの推進に満足している人の割合	62.1%	65.0%	70.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で70%になることを目指す
	まちづくり団体活動補助金による新規支援件数	0件	5件	5件	今後、支援制度を創設し、5件の支援件数を目指す
	協働によるまちづくりに関する研修会等の開催数	0回	2回	4回	5年後までに主に行政主導で2回、このほかに10年後までにはNPO等が主体となって2回の開催を目指す
22 住民活動を支援する	住民活動の支援に満足している人の割合	68.3%	70.0%	75.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で75%になることを目指す
	コミュニティ活動推進補助金を利用した事業数	0事業	11事業	11事業	市内のコミュニティセンター全11地区における事業の実施を目指す
	自治会館等の整備支援件数(延べ件数)	38件	62件	73件	5年後までは主に被災した自治会館の再建を、その後5年間は年2件の通常改修等を目指す
23 地域間の交流を促進する	地域間交流の促進に満足している人の割合	83.0%	85.0%	87.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で87%になることを目指す
	友好都市等交流事業開催数	15回	20回	25回	開催数を年1回ずつ増加することを目指す
29 地域資源を活かした観光振興を推進する	地域資源を活かした観光振興の推進に満足している人の割合	34.4%	40.0%	50.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で50%になることを目指す
	宿泊者数	18,944人 (H29.1月～12月)	35,000人	40,000人	平成21年度実績と比較して、5年後に概ね80%、10年後に90%の回復を目指す
	観光入込客数	550千人回 (H29.1月～12月)	800千人回	900千人回	平成21年度実績と比較して、5年後に概ね80%、10年後に90%の回復を目指す

基本政策	指標名	現状値 (平成29年度)	目標値		目標設定の考え方
			5年後 (平成35年度)	10年後 (平成40年度)	
31 健全な財政運営を推進する	市の健全な財政運営の推進に満足している人の割合	36.4%	40.0%	50.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で50%になることを目指す
	実質公債費比率	13.7%	17.0%以下	17.0%以下	地方債を借り入れる際に県知事の許可を要することとなる18%を超えない数値の維持を目指す
32 広聴広報活動の充実を図る	市の広聴広報活動に満足している人の割合	73.2%	75.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	市公式ホームページの閲覧者数(延べ人数)	296千人	330千人	350千人	5年後までは毎年6,000人、その後5年間は毎年4,000人の増加を目指す
	市公式SNS(フェイスブック等)におけるフォロワー数	28千人	34千人	40千人	年ごとに1,200人の増加を目指す
	市政懇談会への年間参加者数(延べ人数)	427人	500人	550人	平成29年度と比較して、5年後に概ね15%、10年後に概ね30%の増加を目指す
33 利便性の高い行政サービスを提供する	市の行政サービスに満足している人の割合	49.1%	55.0%	60.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で60%になることを目指す
	公共無線LAN整備箇所数	2箇所	25箇所	30箇所	5年後までは主に避難所等への整備を、その後5年間は公共的施設への整備を目指す
	情報ポータルサイトの整備件数	0件	1件	1件	計画期間内の早期に1件の整備を目指す